

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
敦賀市立子ども発達支援センター パラレル 放課後等デイサービス事業所		令和8年3月17日				
	チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・小グループに分かれて部屋を活用することができている。 ・クラス分けし、決まったエリアで落ち着いて過ごせるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5		・アルバイト含め職員の人数が足りないと思う。 ・曜日によって足りない日がある。 ・利用者がある時間は、定員20名に対し5～6名配置できているが、個別対応が必要な児もおり十分とは言えない日もある。 ・定数的には適切だと思われるが、児の安全面・職員の安全面を考えると職員の増員を検討してほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンする場所や個別活動が適している子どもの場所が確保できていると思う。 ・個室を提供したいが、部屋がなくてできない場合もある。パーテーションで仕切る等工夫し対応している。	・鍵（上下）でできると良い。上部は簡単に開けることができるので下部の鍵があると個別でゆっくり過ごすことができる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		・日々の療育で精一杯。なかなか振り返りには至っていない。 ・書類作成や業務が効率的に行えるように試行錯誤中。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・普段の活動の様子についてお知らせを発行するようになった。 ・月間のお知らせを作成。 ・昨年度の事業所評価を基に、お知らせの発行など保護者の声に応えられるよう改善した。 ・運営会議やミーティングなどで行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部研修に参加する機会が少ない、法人内の研修には参加している。	・法人研修はあるが放デイの専門性向上のための研修は確保できていない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		・アセスメントは不十分などところがある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・まだ十分とは言えないが、クラスミーティングの中で計画（案）について意見交換を行う時間をとっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・季節に応じた活動を実施している。	・活動の企画・準備は担当者がするが、活動はクラス担当が担うので大変。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		・集団活動中心になっており個別活動は十分とは言えない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・クラス担当以外の職員が支援を手伝って下さりとてもありがたく思う。	・事前確認は十分行えているが、振り返りや次回に向けての話し合いの時間は十分にとれていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・内容によってその日に確認することがある、翌日に昼礼にて毎日実施している。	・事前確認は十分行えているが、振り返りや次回に向けての話し合いの時間は十分にとれていない。 ・必ずではないが気付きは担当者で話はあるが、送迎に出たり翌日の準備もあるので深く話すことはできない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		・記録はできているが、検証・改善は不十分。様式を見直す等、工夫をしている。 ・記録にも時間を要す、クラスの人数が多いと書ききれず明日に回すと準備の時間が無くなる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		・地域との交流機会は少ない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・視覚的なツールを活用している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・訪問看護師とも連携している。 ・自立支援協議会（療育部会）に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		・新1年生は引き継ぎシートがある子がほとんどだが、小学校の途中などで通所することになった児の情報はあまり詳しく外部から入らない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		・登録者100名いるため、十分にはできていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・要談会は企画している。	・保護者同士語り合える場があると良い。（年一回座談会はあるが回数を増やす等）
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・中高生に対しては、モニタリング・まとめの時期に合わせて意見を聞く場を設定している（12月～）		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	・座談会を実施している。 ・座談会、きょうだい支援	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・今年度より月1回、お知らせ発行・活動報告や活動予定など、写真を交えてお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・クリスマス会の実施	・地域の企業の方やライオンズクラブさん、キッチンカーの皆さん等の協力を頂いているが、招待はできていない。 ・系列施設で世代間交流を行うことができるので、そのような機会が増えると思う。 ・保護者への説明、周知がやや不十分に感じる。 ・マニュアルに基づいた訓練は不十分。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		・実地訓練は実施できていない。 ・定期的にはできていないが、行っている。 ・定期的には実施できていない。 ・以前、コロナ感染をもとにBCPについて説明があったが、職員が情報として知りたいのは災害（地震・大雨等）だと思うので特に地震の際の動きの説明があると思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		・実地訓練は実施できていない。 ・定期的にはできていないが、行っている。 ・定期的には実施できていない。 ・以前、コロナ感染をもとにBCPについて説明があったが、職員が情報として知りたいのは災害（地震・大雨等）だと思うので特に地震の際の動きの説明があると思う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者に事前に確認している（医師からの指示書で対応したケースはない）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・安全計画の取り組み内容について保護者への説明が不十分。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・行っているが、日常的にはできていない。大きな事例のみの共有になっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年一回実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・バギー利用児について姿勢保持や落下防止のためベルトを着用している。個別支援計画にその旨記載している。		